



子育ては みんなの “ちから”で!



みんなで取り組む地域の子育て



中原区子育て支援推進事業10周年記念に寄せて



中原区子育て支援推進実行委員会
委員長 青木 英光

中原区子育て支援推進実行委員会がこのたび、10周年を迎えることができました。これは、偏に先輩諸兄姉のためまぬご努力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

核家族化の進行で、育児不安、育児困難を克服するために始めた中原区の子育てサロンは、現在、区内20ヵ所で開催されております。行政からのご支援及び市内傑出した協働事業並びに優秀なスタッフ・ボランティアのお陰で、大変盛況に推移しております。サロンに参加した親子は、過去10年間で延べ98,000人以上、ボランティアが延べ23,000人でございます。その効果も顕著なものとなってきております。今後とも、充実した子育てサロンを推進し、地域の強い絆のもと、更に大きな広がりやの輪ができるよう歩を進めて行きたいと思っております。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中原区子育て支援推進実行委員会
前委員長 原 良三

中原区子育て支援推進実行委員会10周年おめでとうございます。地域の親子のふれあいの場として、各地区委員の皆さんがあたたかく迎えて下さる雰囲気は、どんなにお母様方に安心を与えてくださったことかと思っております。子育ては苦しみと楽しさがあります。それが親子なのです。今日核家族化が進み苦しい時に誰にも相談出来ない孤独な家庭が多くなりました。大切に保護しなければいけない時期なのです。そこで中原区ではこども支援室が事務局となり官民一体となり相談支援活動を各地区で推進してきました。今では親子から笑顔と元気を頂きお互いに楽しい場になりました。そんな場が今後も地域にあり続けることを願っています。一層の発展を祈念します。

にあってこられた「中原区子育て支援推進実行委員会」の委員の皆様や、地域のたくさんのボランティアの方々のご努力に心から感謝申し上げます。現在、区内20の会場で開催されている子育てサロンは、地域の子育て中の親子にとって、いろいろな親子や異世代の方々との出会い、交流することで、多くの人に支えられていることを実感できる場となっております。子育てサロンの役割はますます大切な存在となっております。今後とも子育てしやすいまちづくりを目指し、区民の皆様と協働して取り組んで参りますので、一層のお力添えをお願いいたします。



中原区長 板橋 洋一

子育てサロンは、地域で孤立しがちな子育て中の親子を支援するため、平成15年度から中原区全域で始まり、今年度10周年を迎えました。

若い子育て世代が多い中原区では、この10年の間に多くの区民の方々が、安心して子育てができるように地域ぐるみで応援をしようと、子育てサロンを始めとする子育て支援に真剣に取り組んでくださいました。子育てサロンの運営

にあってこられた「中原区子育て支援推進実行委員会」の委員の皆様や、地域のたくさんのボランティアの方々のご努力に心から感謝申し上げます。

現在、区内20の会場で開催されている子育てサロンは、地域の子育て中の親子にとって、いろいろな親子や異世代の方々との出会い、交流することで、多くの人に支えられていることを実感できる場となっております。子育てサロンの役割はますます大切な存在となっております。

今後とも子育てしやすいまちづくりを目指し、区民の皆様と協働して取り組んで参りますので、一層のお力添えをお願いいたします。

目次

実行委員長あいさつ・区長あいさつ	1	丸子地区	11-12
サロンの経過・概要	2	小杉地区	13-14
区内子育てサロンマップ	3-4	小杉第二地区	15-16
サロン一覧・経年参加者数	3-4	大戸地区	17-18
住吉第一地区	5-6	地域とのつながり～サロンを支える人たち～	19-20
住吉第二地区	7-8	小中学校との交流（参加者感想紹介）	21
玉川地区	9-10	資料（要綱・名簿）	22

安心して子育てのできる環境づくりを目指して

—中原区子育て支援推進事業10年間の歩み—

<大戸地区子育て支援モデルの開始>(平成14年度)

若い世代や核家族が増加している中原区では、子育ての不安や戸惑い、悩みを抱えている子育て世代が年々増えている現状から、出生率が高く人口増加が著しい大戸地区が、平成13年度にモデル地区として選定され、平成14年度に大戸地区社会福祉協議会が「大戸地区子育て支援推進委員会」を立ち上げました。

委員会では、自分たちの身近な親子に関心を持ち、愛情を持って接し声をかけ見守りながら、安心して子育てのできる環境づくりを目指し検討を重ね、子育てに不安を抱えている親子に対して、住民活動による自主的な活動の基盤づくりを進めました。そういった取り組みのひとつとして、地域の親子が集う場「子育てサロン」の開催を始め、平成14年度から0歳児を対象に3会場で、1歳から3歳児を対象に2会場で、それぞれ月1回開催してきました。

<中原区子育て支援推進実行委員会を立ち上げ、区内全域での子育てサロン展開へ>(平成15年度)

その後、他の地区からも「私たちの地区もこのまちで子育てをして良かったと思えるように子育ての応援体制を作っていこう」という声が強くなり、平成15年度、区は魅力ある区づくり事業の中で、「中原区子育て支援推進実行委員会(以下 実行委員会)」を立ち上げ、中原区全域での展開を図ることになりました。実行委員会は、区社協会長に委員長をお願いし、区社協事務局長、地区社協会長、地区民児協会長、主任児童委員の合計23名で構成されました。これにより、7地区13会場での子育てのサロンを展開していくことになり、地区ごとに子育て支援推進実行委員会や民生委員児童委員協議会が運営を行い、それぞれの団体が連帯し、発足準備から運営まで、地区の特徴を生かし、それぞれ工夫された子育てサロンに成長していきました。推進に関わった誰もが、一人ひとりの力が合わされば大きな力になることを実感し、子育てサロンはどの会場も親子でいっぱいになり、母親たちが求めていたものであることがよく分かりました。子育てサロンを継続していくため、各地区では運営についての話し合いが活発に行われました。また、年に2~3回開催される実行委員会に加え、実行委員会の具体的な進め方やその時の課題を検討する場として、平成19年度より各地区から1~2名の運営部会委員を選出し、年4回運営部会を開催しています。

その後、1歳から3歳対象の子育てサロンが平成17年度(小杉地区)、平成23年度(玉川地区)、平成24年度(丸子地区)にそれぞれ1箇所ずつ新たに開設され、平成24年度には地域の身近な16の会場で開催されています。

<子育てサロンスタッフ研修会の開催>(平成20年度~)

サロン開設当初から、各地区でスタッフのための研修を行っていましたが、平成20年度からは実行委員会主催で区内全ての子育てサロンスタッフを対象とした研修会を年1回開催してきました。サロンに参加する乳幼児の保護者のニーズに沿った、より充実したサロンが実施できるように、毎年テーマを検討し「ボランティアの役割」「災害時の対応」「地域における子育て支援」といった内容で開催されています。

<子育てふれあい広場(自主サロン)への助成開始>(平成19年度~)

地域の自主的なボランティアにより運営されている子育てサロンについても、共に地域での子育てを支える役割を果たしていることから、平成19年度から、子育て支援推進実行委員会が支援を行うこととなり、4箇所の子育てサロンへの助成を始めました。

<地域の小中学校との連携>(平成19年度~)

平成19年度から、丸子地区子育て支援推進委員会が小学生に乳幼児とのふれあいを通し命の大切さを学んでほしいと、地元小学校の総合学習「生命の授業」への協力を始めました。平成23年度からは小杉地区も加わり、平成24年度には6年目の「いのちの授業」が行われました。また、大戸地区では平成16年度から、丸子地区・小杉地区では平成18年度から、中学生ボランティアの受け入れに協力しています。このような取り組みを通じて、子どもたちは、子育ての大変さや自分を育ててくれた親への感謝を改めて感じるとともに、参加した親子からは「普段交流することのない地域の子どもたちと触れ合えてよかった」、「今は小さな赤ちゃんがこんなに成長することに感動した」といった感想をいただいております。このふれあいを大切にしていきたいと思っております。

<今後の発展に向けて>

この10年の年月、地域の方々、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、行政がそれぞれの役割を果たし、一体となって子育て支援を進めてきました。皆で知恵を絞り、住みやすい、安心して子育てのできる社会をつくっていくという共通の目的に向かって、「子育てはみんなの力で」を実践してきました。これからも子育て中の親子が孤立しないで、地域の人々に見守られ、支えられ、また、地域の人達も乳幼児とふれあうことで活力をもらい中原区全体が元気になるように、地域全体で取り組んでいきたいと思っております。